

## 団体名 特定非営利活動法人西成チャイルド・ケア・センター

### 事業名 学習支援と夜の居場所と子育てサロン事業

#### 事業概要

- こどもや親が本来持っている力（エンパワー）を引き出し、自己肯定感を高めることで貧困の連鎖を断ち切ることを目的とする。具体的には、こどもの居場所や学習支援を行い、また子育て層にはサロンを開設、子育て・子育て支援を行う。
- ①中高生の夜の居場所事業、②子育てサロンの運営、③こどもの学習支援事業、④課題を抱えたこども達のおかえりごはん会、⑤地域教育機関と連携拠点事業、⑥世代間交流事業

#### 解決すべき地域の課題

- 地域のお祭りや子どもからお年寄りまでが集う居場所が存在していたが、自治会中心メンバーの高齢化に伴いマンパワーが少なくなってきており、困難な家庭が増えてきている。
- 困難な家庭が多数居住する地域において、地域力を取り戻す様々な取り組みを行いながら、困難を抱えた家庭丸ごと応援する仕組みづくりに取り組む。

#### 活動状況

- こども食堂を開設し、月曜日は学習支援も実施している。（月曜日・火曜日は晩、土曜日は昼）
- 木曜日・金曜日・土曜日の夜は、子どもの事情に合わせて個別対応を行っている。
- こども食堂は登録制とし、当該団地の子どもを含む85名の登録があり、より丁寧な対応が必要な一人親家庭を中心としている。
- 中学・高校の先生からの紹介で、子どもを含む家族を支援することもある。
- 食堂運営に必要な食材などは、ブログで発信することにより、野菜・果物・肉などの寄付があります。
- 月曜日～土曜日の朝から夕方まで子育てサロンとして、保護者同士の情報交換、相談の場となっている。
- 毎日スタッフが常駐しているほか、中高年齢層や大学生のボランティアで運営している。
- 移転前よりも子どもとの距離感が近くなり、子どもの様子に気づきやすくなった。
- 利用料は無料。



【活動の様子】

#### 活動に参加している利用者の状況（市営住宅の住民および近隣住民）

- 市営住宅に住むこども・子育て世帯も参加している。取り組みも定着してきた結果、当該小学校区の利用に加え、区役所などからの誘導による利用も増加している。

#### 住戸の活用状況

- 間取りは住戸部分が2DKで、店舗部分は事務所と土間がある。住戸部分を子ども食堂等、土間を遊びのスペースとしている。
- 住戸の和室は二間を一続きとして使っている。
- 畳の上にカーペットを敷いて利用している。
- 利用者にわかりやすくするために、店舗側に看板を設置している。



室内の活用状況



#### 「市営住宅のコミュニティ活性化事業」の利用による変化

- こどもや子育て層に特化した窓口ができたことで、こどもや子育て層の利用者が増加した。また、食材や備品などの運搬についても、1Fのためスムーズにできるようになった。
- 実施している活動の内容を、当該住宅をはじめ、地域住民へ周知する必要があると感じた。そのことにより、実施している内容が理解され、地域の子育て支援が広がる。
- 活動の定着により利用者も増加。そのため、もちつき大会やクリスマス会などを住宅の集会所で実施することになった。また、もちつき大会は、住宅入居者を中心としてボランティア参加があった。

#### 活動団地の場所

【団地名】 ひらき住宅 1号館 102号室

【所在地】 西成区中開3丁目3番

